

小さな芽 届け未来へ 緑の力
第59回南会津地方植樹祭

▶苗木を植樹する朝日小学校の児童



▼目黒町長(右)はじめ、参加者で記念撮影



晴天に恵まれた6月9日、比良林公園(大倉)で、第59回南会津地方植樹祭が行われました。はじめに、主催者の南会津地方緑化推進委員会委員長である星光祥檜枝岐村長が「活力ある森林の育成と、自然環境の維持を推進します。緑豊かな自然を未来に継承していくことが私たちの重要な任務です。このような活

動を今後も継続していきたいと考えます」とあいさつを述べました。続いて、目黒町長の歓迎のことばのあと、森林環境の保全や普及、啓発活動などに貢献された緑化功労者4名の方々が表彰を受けました。また、平成13年度から毎年、木製玩具の売上金の一部を緑化推進委員会に寄付されている株式会社高島屋の鈴木弘治代表取締役社長に感謝状が贈呈されました。緑化功労者を代表し渡部民夫さん(小川)が「森林の重要性を次世代に示していくことが大切。小学生の皆さんにはこの活動を通して森や自然の大切さを学んでほしい」とあいさつを述べました。

その後、宍戸裕幸南会津農林事務所長が祝辞を述べ、植樹を行いました。植えられた苗木は、サクラやコブシ、イロハモミジ、ツツジ類など合わせて230本で、目黒町長はじめ、町内の小学生や田島第二小学校緑の少年団などの参加者が、一本一本丁寧にやさしく土をかぶせ植樹していました。最後に記念として参加者全員にサラサドウダンの苗木がプレゼントされました。

ただみ自然案内人の会がスタート
発会式及び設立総会

ただみ自然案内人の会は6月21日に、ただみブナと川のミュージアムで、発会式及び設立総会を行いました。

同会は、只見町公認自然インストラクターの認定を受けた「ただみ自然案内人」13名が中心となって設立。代表には鈴木章一さん(只見)、代表代行に古川勝久さん(長浜)、事務局長に渡部和子さん(館ノ川)が就任しました。発会式には、目黒町長をはじめ、只見町ブナセーター運営委員長、只見町観光まちづくり協会事務局長などが、お祝いに駆けつけました。今後は、只見町の自然の魅力

について案内したり、ブナセーター事業への協力、支援などの活動を行っていきます。



▲お祝いのあいさつをする目黒町長

○只見町公認自然インストラクター名簿○

(敬称略)

職名	氏名	住所
	目黒 淳一	只見字原
	鈴木嘉津雄	只見字町下
代表	鈴木 章一	只見字沖
	佐藤 弘	叶津字入叶津
事務局長	渡部 和子	楢戸字館ノ川
	熊倉 彰	黒沢字沖
	熊倉 恵子	黒沢字沖
	山岸 國夫	黒谷字黒下
	船木 孝行	黒谷字白沢
代表代行	古川 勝久	長浜字柄沢
	梁取 一樹	大倉字広田面
	角田 朋之	小林字上照岡
	山内 明生	小林字上川原

豊かな自然のなかで培われた民俗を探る 民俗講演会



▲民俗について語る柏村祐司氏

只見の自然に学ぶ会と只見地区センターの主催により、6月6日、只見地区センターで民俗講演会が行われました。只見の自然や文化を知ること、町づくりの一步となることを目的に開かれ、今回が6回目。町内外から30名が参加しました。演題は、「奥会津の民俗を語る〜雪国の伝統と技〜」で、栃木県立博物館名誉学芸員、栃木県文

化財審議委員の柏村祐司氏が講演されました。柏村氏は20年以上前から只見の民俗調査を続けられ、狩猟や編み組細工、昔話などの民俗文化を数多く発表されています。今回は、只見の自然に生かされた暮らしや民俗をスライドを交えてお話いただきました。参加者は、改めて町の民俗文化の奥深さを学んでいました。

叙位・叙勲 小沼昇さんに旭日双光章

小沼さんは、平成8年12月から平成20年12月までの3期12年間、只見町長として在職されました。

その間、町村合併問題に取り組み、また町民が安心して暮らせる町の基盤づくりにも尽力され、朝日診療所の充実をはじめとする安定した保健・医療・福祉サービス体制の確立、山村教育留学制度による学校や地域の活性化、「自然首都」宣言を行い只見の自然のブランド化とブナ林を核とした交流の拡大にも取り組まれました。

さらに、只見町土地改良区理事長として、農業経営の合理化安定化を図られ、平成15年度からの2年間は南会津地方町村会長を務められ、南会津郡内町村の広域行政の推進にも力を発揮されました。

このように、只見町の発展と地方自治の振興進展に大きく貢献され、多大な功績を残されたことから、旭日双光章を受章されました。



塩ノ岐納税貯蓄組合に福島県知事感謝状

6月11日に福島市の自治会館で行われた第44回福島県納税貯蓄組合連合会定時総会において、塩ノ岐納税貯蓄組合（目黒良平組合長）に福島県知事感謝状が贈られました。感謝状は佐藤雄平県知事から目黒組合長に手渡されました。

塩ノ岐納税貯蓄組合は昭和35年の設立以来、50年の長期にわたり、組合長を中心とした組合員相互の納税意識の高揚活動も活発で、納期内完納を継続、納税秩序の維持発展に寄与され、

優良納税貯蓄組合として認められました。



▲感謝状を手にする目黒良平組合長

菅家一徳さんに福島県納税貯蓄組合連合会長感謝状

6月11日に福島市の自治会館で行われた第44回福島県納税貯蓄組合連合会定時総会において、菅家一徳さん（只見）に連合会長感謝状が贈られました。感謝状は菅野昌徳連合会長から菅家さんに手渡されました。

菅家さんは、福島県納税貯蓄組合連合会の副会長並びに南会津地区納税貯蓄組合連合会の会長を平成13年6月から平成21年6月までの4期8年間、在職され、多年にわたり申告納税制度の推進と納税意識の高揚に努められ、納税貯蓄組合の指導に多

大な貢献をされたことが認められました。



▲感謝状を手にする菅家一徳さん